

**「マイナビ 2023 年卒 企業新卒採用予定調査」を発表****2023 年卒の企業の採用意欲はさらに回復傾向****新卒採用を実施する理由は「組織の存続と強化(活性化)」「年齢など人員構成の適正化」**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、「マイナビ 2023 年卒 企業新卒採用予定調査」を発表しました。本調査は、企業の新卒採用に対する意識や採用活動全体の動向を把握することを目的に、2001 年（2002 年卒）以来、毎年実施しています。

**《TOPICS》**

- ◆ 23 年卒の採用意欲はさらに回復傾向で、採用予定数を「増やす」割合が増加。採用活動は前年と同様のスケジュールで実施される見込み【図 1、2、3】
- ◆ 採用基準は 22 年卒と比較して「厳しくする」が減少し、「前年並み」が増加。採用のゴールとしてもっとも重視しているのは「自社の職務適性が高い人を多く採用すること」【図 4、5】
- ◆ インターンシップから最終面接まで、採用活動における全てのフェーズで WEB と対面を併用する割合が高まる【図 6、7】
- ◆ 23 年卒学生に対して行う工夫は「コロナ禍でガクチカが話しづらいことへの配慮」「孤立させない交流の機会づくり」【図 8】

**【調査概要】**

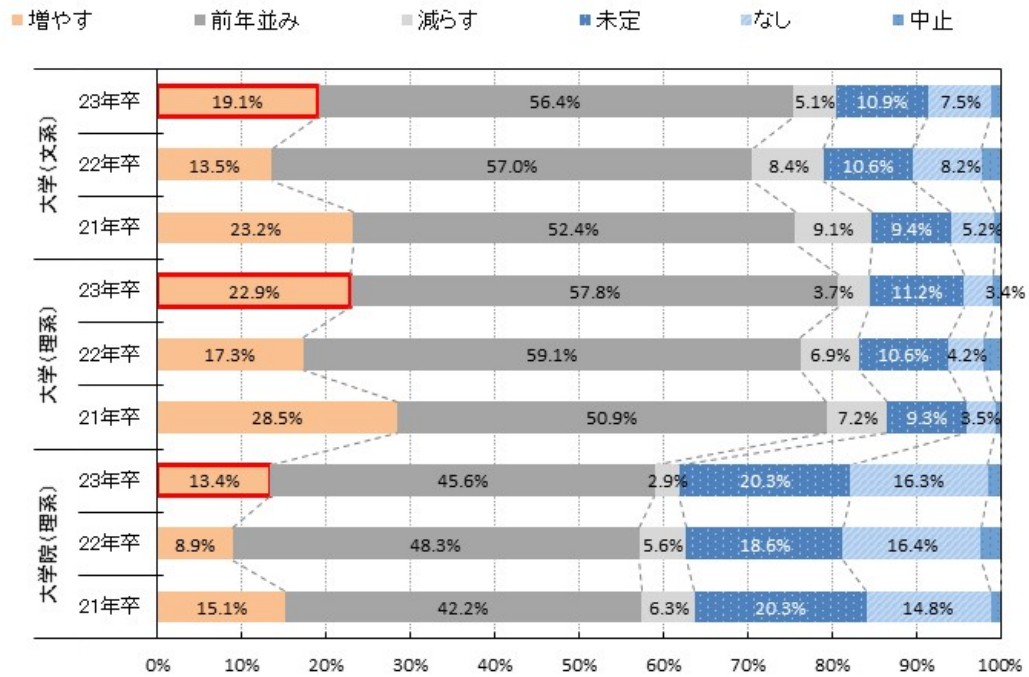
企業の 23 年卒の採用予定数は「前年並み」が最も多いが、「増やす」の割合がすべての属性で 22 年卒より増加した。新卒採用を実施する理由は 22 年卒と同様、「組織の存続と強化（活性化）」「年齢など人員構成の適正化」が上位となった。アフターコロナに向けた組織強化や、大卒年齢に相当する 22 歳人口が今後減少していくことなどを踏まえ、現時点から若手人材を確保する必要性を感じているようだ。また、採用スケジュールについて、「エントリー受付」から「面接」の開始時期を 3 月、「内々定出し」開始時期を 4 月とする割合が最多で、22 年卒と同様のスケジュールで実施される予定となっている。【図 1、2、3】

採用基準について、22 年卒と比べて「厳しくする」割合が減少し、「前年並み」が増加した。しかし、「新卒採用のゴールとして重視していること」を見ると、もっとも重視されているのは「自社の職務適性が高い人を多く採用すること」で、採用基準を厳しくしていないとはいえ、採用人数の確保を優先しているわけではないようだ。【図 4、5】

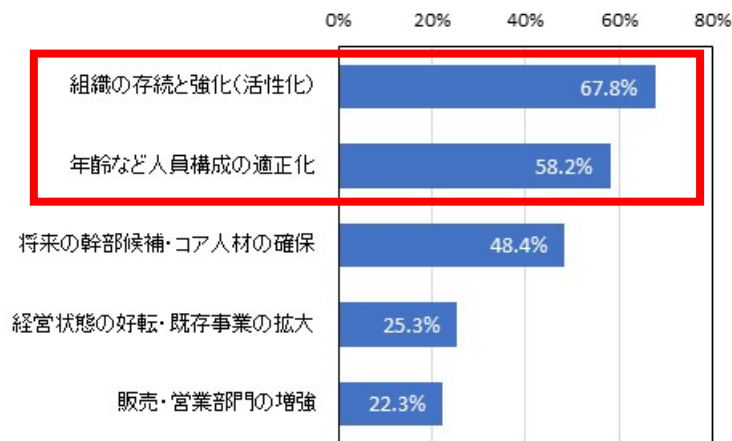
WEB 活用の予定について 22 年卒と比べると、23 年卒では「全て対面」「全て WEB」のように開催形式を固定している割合が減り、WEB と対面を併用する傾向にある。一方、最終面接のみ「全て対面」とする割合が 69.6%で高い結果となった。採用担当者のコメントを見てみると「WEB 形式で説明会を実施することで遠方の学生にも参加してもらえる」「WEB の導入で採用業務の負担軽減につながる」「一度も会わないことに不安を感じる学生もいるので面接は対面でも実施する」などの意見が挙がった。【図 6、7】

学生生活の 3 分の 2 をコロナ禍で過ごした 23 年卒の学生に対して、企業が採用活動で行っている（予定の）工夫を自由回答で聞いたところ、「ガクチカではなくコロナ禍で気づいたこと、工夫したことを聞く」「孤立させない交流の機会づくり」などの意見があった。例年の面接で聞いていたガクチカ（学生時代に力を入れたこと）については、コロナ禍の大学生活で活動の制限があったことでエピソードが少ないことを踏まえて、他の質問をすることで学生の人柄を引き出す工夫をしていることがわかった。【図 8】

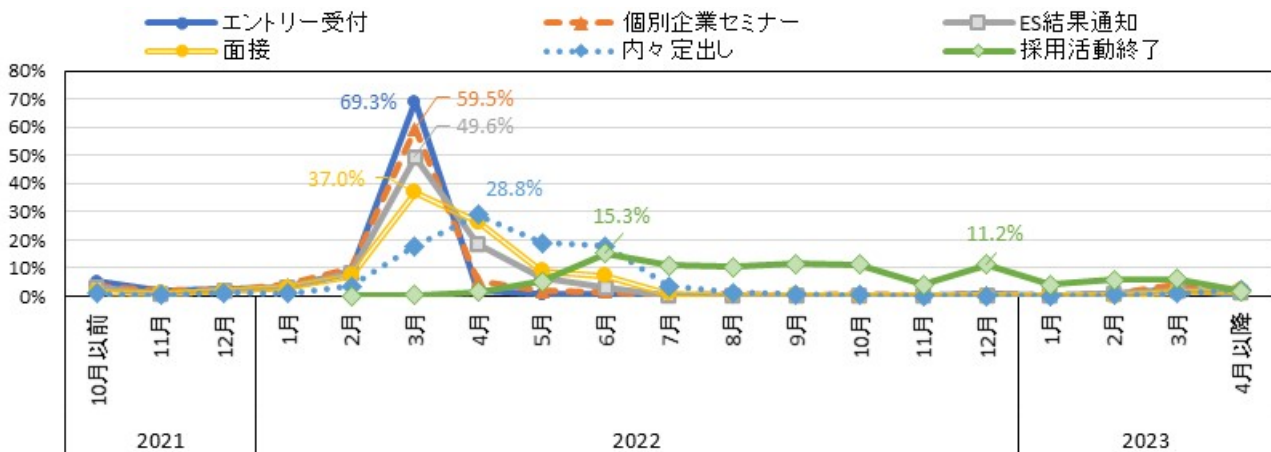
【図1】採用予定数（3カ年比較）



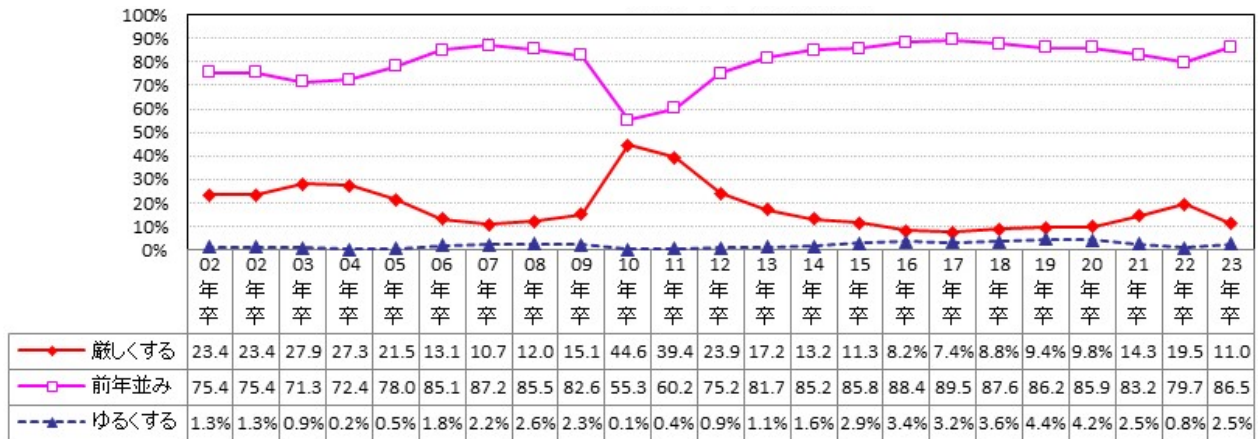
【図2】新卒採用を実施する理由（上位抜粋）



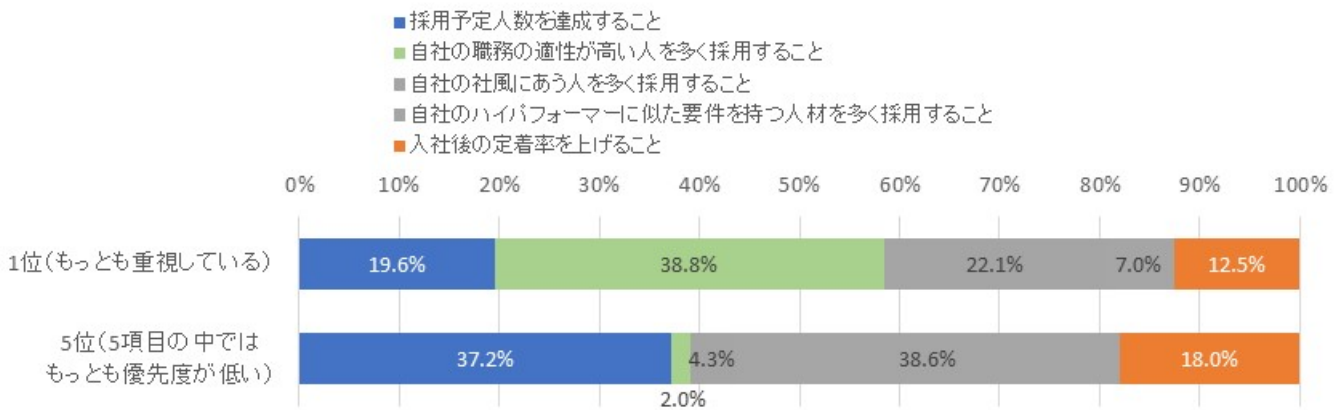
【図3】23年卒採用スケジュール（各フェーズの開始時期）



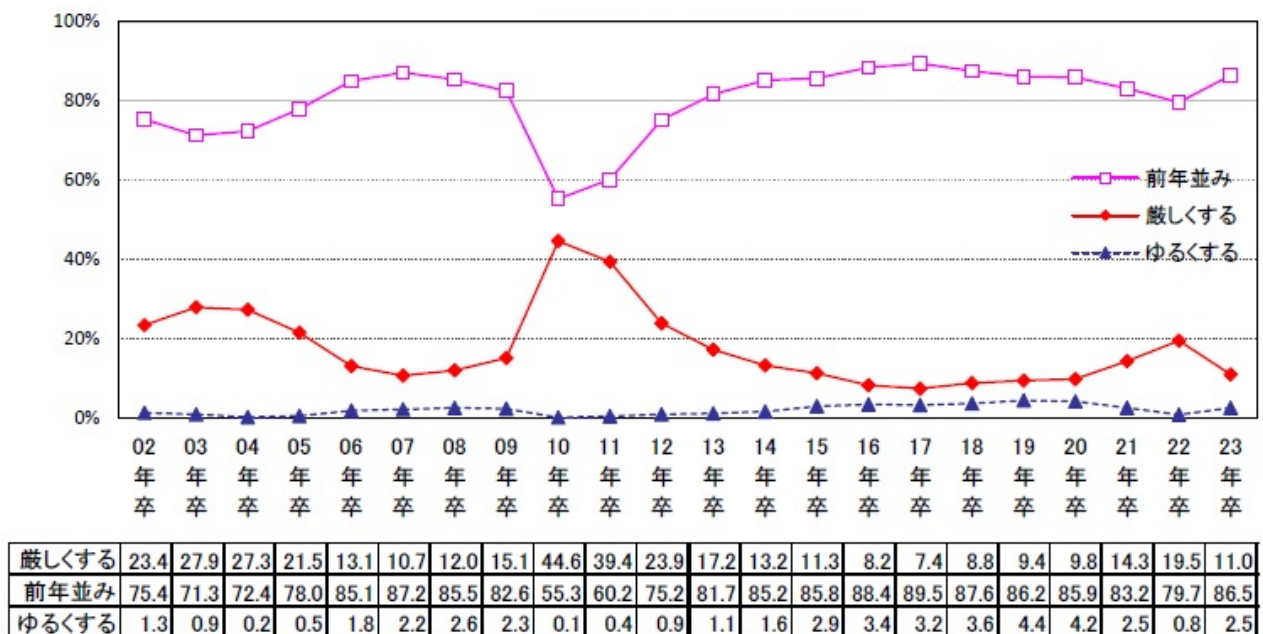
【図4】採用基準（経年比較）



【図5】新卒採用のゴールとして重視していること（1～5位まで順位付け）



【図6】WEB活用状況



【図 7】WEB 活用を行う理由

業種	WEB活用度合い					左記のようなWEB活用を行う理由
	インターシッ ップ	合同企業セ ミナー	個別企業セミ ナー	1次面接	最終面接	
ソフトウェア・通信	実施していない・しない予定	対面とWEBが半々	対面とWEBが半々	全て対面	全て対面	23年卒の会社説明会はすべてWEB開催をすることになりました。22年卒の就活はコロナ禍の影響で、いきなりイベントが中止になるという経験をした人たちが多かったと思います。そういった不安要素を少しでも減らせるように、全面WEB化を図りました。何より、学生が安心して就活ができる環境を整えてあげるのが企業の採用活動の役割だと考えます。
建設	どちらかというWEB	どちらかというWEB	どちらかというWEB	どちらかというWEB	全て対面	首都圏外の学生にまで母集団を拡げることが用意であり、また費用や拘束時間の面でも学生の負担を軽減するメリットは大きく、地方学生の採用につなげることができる。但し、本社での対面実施で相互理解をより深めることを重視し、最終面接は対面にこだわって実施する。
官公庁・公社・団体	対面とWEBが半々	全てWEB	全てWEB	全て対面	全て対面	移動にかかるコストを下げる上でWEBの説明会やインターシッップは学生も参加しやすいため有効である。半面カメラをOFFにした状態等では対面で行う場合と比較して圧倒的にお互いの理解度が下がることから対面の重要性も同時に感じている。理想はWEBで母集団をできるだけ形成し、お互いに見込のある学生を絞り込んで対面実施により志望度を上げるという流れ。
製造(建設除く)	実施していない・しない予定	どちらかというWEB	全てWEB	全てWEB	どちらかという対面	コロナ禍を鑑み、WEBでの採用活動を実施した結果、時間と距離を考慮せずに効率よく活動ができ、採用業務の負担軽減に繋がる事が分かった為。ただ、対面と比べて明らかにフックは弱くなるのでコロナ禍推移次第では、二次や最終面接では対面実施の比率を増やしていきたい。
サービス・インフラ	どちらかというWEB	対面とWEBが半々	全てWEB	全てWEB	どちらかという対面	選考フローの初期段階は、当社としても効率的で、学生さんにとっても参加しやすいと思われるので、WEB実施とする。ただ一度も対面の選考がないことに不安を感じる学生さんもあるし、当社としても会って判断したいので、後半は原則対面(遠方の方や事情のある方はWEB可)としている。

【図 8】23 年卒学生に対して、対応の仕方を変えている点や工夫している点

業種	対応の仕方を変えている点・工夫している点
ソフトウェア・通信	「ガクチカが書けない・言えない」学生が多いと予想されるので、大学時代に限らず、いままでで力を入れてきたことや、ワクワクすることなど、学生の人柄や個性が分かるようなエピソードを聞くようにする。
製造(建設除く)	今までは面接で学生時代に力を入れたことを聞いていたが、それだけではなく、「大学生時代に限らず頑張ってきたこと」、「自身の強み」、「勉強で頑張ったこと」、「コロナ禍になって行動を変えたこと・気づいたこと」等、コロナ禍でなくても(コロナ禍だからこそ)回答できる質問を意識する予定。
金融	面接で、大学生生活のエピソードを聞く時、バイトやサークル経験が少ない事を想定し、メインの学業などを深掘りする。
ソフトウェア・通信	選考のフィードバックを各面接後に一人ひとり行う。また、コロナの影響で学生時代に注力したエピソードが少ないことも理解している旨を前置きしておく。
製造(建設除く)	実際に会社を訪れる機会を多く設けた。製品のショールームが設営されているため、商品を見る、職場を見る、いろいろな人と触れ合う機会を設けた。また、選考過程で会社や仕事の理解度を高めるオンライン面談を実施。自信をもって面接に臨めるように取り組んだ。また、学チカなどを聞くときは、先刻の就活生が同じ状況下で活動していることを伝えて、ありのままを話すことを促した。
サービス・インフラ	学生の希望や意見を取り入れながら、フォローの開催形式は検討している。また、孤立することがないように、定期的な連絡や他の内定者とコミュニケーションをとる機会も作るようにしている。LINEを使用することで、メールよりも気軽かつ、すぐに対応できるような体制をとっている。
建設	インターシッップや説明会、またOB・OG訪問等を利用して自由に多くの企業を見学することが出来なかった方々だと思えます。選考を受けるにあたり、また、入社するにあたって少しでも不安が払拭されるように、会社説明や座談会を通して社内の雰囲気や働く環境について丁寧に情報提供することを心掛けています。特に、学生が会社への具体的なイメージを抱けるように、働く社員目線からのリアルな声を届けることを大切にしています。

【調査概要】「マイナビ 2023 年卒 企業新卒採用予定調査」

- 調査期間 / 2022年2月1日(火) ~ 2月14日(月)
- 調査方法 / 新卒採用実績のある国内企業に回答用紙を郵送、当社運営の採用・育成・組織戦略に関する情報メディア「HUMAN CAPITAL サポネット」会員にメールマガジンにて案内、マイナビ 2023 利用企業担当者宛にメールマガジンにて案内、弊社営業担当より各企業にご案内
- 有効回答数 / 2,632 社 (上場 373 社、非上場 2,259 社 | 製造 1,009 社、非製造 1,623 社)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が 100%にならない場合があります。

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社マイナビ  
社長室 HR リサーチ部 沖本  
Email : [myrm@mynavi.jp](mailto:myrm@mynavi.jp)

【当社に関するお問い合わせ先】  
株式会社マイナビ  
社長室 広報部 石井  
Email : [koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)